

(表紙)

地震に強い都市づくり推進五箇年計画（第1回変更）

千葉県長生村

平成26年3月（当初）

平成28年3月（第1回変更）

(様式 1)

地区名

都道府県名	千葉県	市町村名	長生村	地区要件	大規模地震発生の可能性の高い地域
地区名	長生村全域	地区面積	28.29 km ²		

地区の概要

地区の選定理由

■長生村の概要

〔位置・面積〕 千葉県東部の房総半島九十九里浜に面し、東西約 7.4km、南北約 6.0km、面積約 28.29 km²にある。

〔地形〕 地形は平坦であり、海拔 0～9m で太平洋に向かって、1/1000 の勾配を成している。

〔人口〕 平成 24 年（2012 年）4 月 1 日現在 14,900 人となっている。

〔産業〕 太平洋の黒潮による影響を受けて、年間を通じて温暖な気候に恵まれており、こうした気候条件と平坦な地形をいかして、稲作や野菜栽培、酪農のほか、沿岸漁業を中心に発展してきた。また、昭和 57 年の西部工業団地開発により、工業生産も伸びてきている。

〔交通〕 本村の西部から南部にかけて国道 128 号線と J R 外房線が縦貫しており、村内には J R 八積駅があり、千葉駅まで普通電車で 45 分、東京駅まで茂原駅から特急利用で約 1 時間と、周辺都市への利便性に恵まれた距離にある。

〔観光〕 美しい海岸一帯は、「県立九十九里自然公園」内にあり、海水浴やサーフィンなどの海のレジャーを中心に、来遊者が多く訪れている。

■選定理由

- ・本村の地形上、沿岸から概ね 4km 未満は、TP（東京湾平均海面）3m 以下の地域が広がっており、TP 10m 以上の高台は見られない。本村における「長生村津波避難施設整備検討調査（H25.1）」において、近い将来発生が予想される東京湾北部地震や千葉県東方沖地震による津波の発生に対し、沿岸から 2km 圏まで津波が到達し、沿岸 1km 圏内は 2m を超える浸水深となることが想定されている。そのため、沿岸 1km 圏内の人命と建物被害が特に懸念され、沿岸 2km 圏外への避難が急命題となっている。

都市基盤施設の整備（耐震化）状況

①道路（避難路）

- ・津波に対し避難路と想定する道路は、一部狭隘道路となっている箇所や、河川で行き止まりになっている箇所があるなどの課題が見られる。

②避難地

- ・避難地となる小・中学校の耐震化を実施。一方、津波避難が必要な沿岸より 2km のエリアは高台がなく、一次避難が可能な避難地がない。

③ライフライン施設

- ・老朽化し不具合が生じていた防災行政無線について、多機能な施設に更新整備を実施した。防災用品を備蓄するための防災備蓄倉庫の整備を実施した。

④その他

- ・避難場所を明示し、誘導する標識を設置した。
- ・ハザードマップの作成など、住民への防災意識の向上のための支援を実施したが、新たに本村に入居する住民も多く、地域コミュニティが希薄になっており、自主防災組織への参加人数も減少傾向となっている。

(様式2)

整備目標等

計画期間	平成 26 年度 ～ 平成 30 年度 (五箇年)
<p>対象とする地震：東京湾北部地震、千葉県東方沖地震、その他（南海トラフ地震）</p> <p>東京湾北部地震：地震の規模は、マグニチュード 7.3 を想定している。中央防災会議によって津波高も計算されているが、最大 0.5m 程度であり、津波による被害想定は行われていない。建物の全半壊 598 棟、負傷者約 52 人という被害が想定されている。</p> <p>千葉県東方沖地震：地震の規模は、マグニチュード 6.8 を想定している。1987 年千葉県東方沖地震は震源が深いため、津波の発生はなかったことにより、津波発生は考慮されていない。建物の全半壊 115 棟、負傷者 14 人という被害が想定されている。</p> <p>※津波被害は上記地震では顕著に発生しないため、元禄地震(1703 年)及び延宝地震(1677 年)を対象に津波被害量を算出し、被害予測を実施。</p>	
<p>■整備の方針</p> <ul style="list-style-type: none">・東日本大震災を契機に、津波対策を中心とした防災対策に対して抜本的な見直しが必要となり、長生群市では「長生郡市広域災害対応計画 (H24.3)」が作成されるとともに、本村においても「長生村津波避難施設整備検討調査 (H25.1)」をとりまとめ、それをふまえ「長生村地域防災計画 (H26.1)」の見直しを行った。・これらの計画に基づき、地震災害とそれに伴う津波被害に備え、避難路や避難地、ライフライン施設等の早急な基盤整備とともに、住民の防災・減災への意識向上といったハードとソフトの両面から防災・減災のまちづくりを推進する。 <p>■本計画で確保する防災性能</p> <p>①道路（避難路）</p> <ul style="list-style-type: none">・必要となる避難路が狭隘道路であることや、河川で避難路が行き止まりになるなど津波に対する円滑な住民避難に支障をきたす恐れがある。そのため、避難路となる道路の拡幅や、円滑な避難のための橋梁の整備を進める。 <p>②避難地</p> <ul style="list-style-type: none">・避難が必要な沿岸より 2 km のエリアは高台がなく、津波に関して一次避難が可能な避難地がない。そのため、築山公園整備や集会所施設と複合利用可能な施設整備等により、高齢者等の避難も配慮した身近な避難地（計 3 箇所）の確保を進める。 <p>③ライフライン施設</p> <ul style="list-style-type: none">・住民に緊急地震速報や避難誘導等の重要情報の伝達を迅速かつ的確に行うための防災行政無線は一定の再整備を終えたが、来遊者が多い箇所における防災無線施設の強化や、電波状況の悪い地域の改善等を進める。また、情報ネットワークの多重化として、災害対策本部と各避難拠点において安定的な情報ネットワークを確保するための整備を進める。 <p>④その他</p> <ul style="list-style-type: none">・避難路や避難地の確保とともに、円滑な誘導が必要となる。そこで、住民や来遊者が円滑に避難できるよう避難案内板の整備、避難路照明施設整備、を進める。・防災・減災に関するハード整備とともに、地域ごとの災害時における迅速な対応や、助け合いの意識をもてる環境づくりを目指し、住民への防災・減災関連施設に対する認知促進や防災意識向上のための支援を進める。	

(様式3)

地震防災対策の概要(重点実施事業)

整備項目	実施事業名	事業地区名	事業主体	事業規模 (面積・延長・幅員等)	事業期間	概算事業費	補助対象施設の特例 適用の有無
①道路	避難路整備	一松地区 村道 2-5 号線 他 1 蟹道地先	長生村	村道 2-5 号線他 1 L=770m、W=5.0~6.0m 避難誘導案内板2基	H26~28	97,830 千円	無
	避難路整備	一松地区 村道 1143 号線 他 1 大根地先	長生村	村道 1143 号線他 1 L=790m、W=5.0~6.0m 避難誘導案内板4基	H26~28	119,600 千円	無
	避難路整備	一松地区 村道 1146 号線 他 1 大根地先	長生村	村道 1146 号線他 1 L=700m、W=5.0m 避難誘導案内板4基	H26~28	64,930 千円	無
	避難路整備(橋梁新設)	高根地区 村道 3075 号線 下村地先	長生村	村道 3075 号線橋梁 歩行者・自転車 L=10m	H26~27	48,280 千円	無
②避難地等	築山公園整備	一松地区中部 城之内地先	長生村	築山公園 (頂上避難部面積 290 人(0.5 m ² /人)以上収容)	H26	156,600 千円	無
	築山公園整備	一松地区南部 竜宮台地先	長生村	築山公園 (頂上避難部面積 110 人(0.5 m ² /人)以上収容)	H26	123,230 千円	無
	避難施設兼集会所整備	一松地区北部 鷺地先	長生村	避難施設(2 階建+屋上) (屋上に 340 人以上収容)	H26	319,720 千円	無

③ライフライン施設	防災無線整備	八積地区 金田地先	長生村	金田地先防災無線 新規子局設置1基	H27	3,800 千円	有
	防災情報ネットワーク整備	長生村全域	長生村	避難情報ネットワーク施設 各避難所(10か所)、無線通信装置 10 機、非常用自家発電機 10 機	H27	29,570 千円	有
④その他	マンホールトイレ整備	一松地区 一松小学校	長生村	マンホールトイレ 10 箇所	H27	3,350 千円	無
	注意喚起施設	一松地区 驚地先	長生村	驚地先(海水浴場内) スピーカー及び赤色回転灯、停電時用バッテリー 各1	H27	4,180 千円	無
	潮位監視ライブカメラ設置	一松地区 驚地先	長生村	驚地先 潮位監視ライブカメラ設置、停電時用バッテリー 各1	H27	2,460 千円	無
	災害関連照明	一松地区	長生村	太陽光発電型の発光機能付照明灯 10 基	H27	20,000 千円	無
	防災訓練支援	長生村全域	長生村	防災パンフレット等	H26～30	11,830 千円	無
	自主防災組織活動支援	長生村全域	長生村	防災資機材購入補助・活動資金補助	H26～30	11,830 千円	無